

[単位：千円]

環境をあらゆる政策の基本とした環境共生型都市・京都の実現

140,700
(9項目)

地球温暖化の防止

京都発CO₂マイナス10^{テン}プロジェクト

～始めよう！暮らしの中から脱温暖化～ <新規> 20,000

家庭からの温室効果ガスの排出削減を図るため，市民のエコライフ（暮らしの中での環境にやさしい行動）の実践を促進する。

京（きょう）からエコライフ宣言（4年サンセット） 4,500

インターネット等を通じて，可能な限り多くの市民に，エコライフの実践を宣言してもらい，宣言者には，環境政策等に係るアンケートの実施，環境家計簿やセミナーへの参加勧奨などを行い，定期的，継続的な取組へ誘導する。

目標宣言者数 15万人（4か年）

CO₂排出量10%削減モデル事業（4年サンセット） 8,500

地球温暖化対策モデル地域を設定し，京都ならではの地域コミュニティを活用した省エネ活動に地域単位で取り組む。

実施箇所 3か所

取組内容 環境家計簿の取組，省エネ相談員の派遣，
省エネナビによるデータ収集 など

こどもエコライフチャレンジ推進事業（4年サンセット） 4,000

モデル校に指定した小学校において，子ども向け環境家計簿を夏休みの宿題などの教材として用い，家庭で親子が一緒に楽しみながら，エコライフに取り組み，省エネ活動を実践する。

モデル校 市内11校（各区1校）

対象者 小学校5年生

脱温暖化パートナーシップフォーラム（単年度事業） 3,000

京都発CO₂マイナス10プロジェクトの実践者が取組成果を発表するとともに，次年度以降の取組に反映するための意見交換のほか，学識経験者が先進事例紹介等を行うフォーラムを開催する。

開催時期 20年2月頃

[環境局 地球温暖化対策課 TEL 222-3452]

[単位：千円]

地球温暖化防止京都会議(COP3)開催10周年記念事業

<新規> 10,000

環境先進都市・京都の未来を描く

7,500

市民や事業者とともに、2030年以降を見据えた長期的な視点から、現在の社会経済システムやライフスタイルにとらわれない自由な発想で、良好な地球環境を「引き継ぐ」大人と「受け継ぐ」子どもの双方が共有できる夢のある京都の未来像を描き、これを発表し合う記念行事を開催する。

開催時期 19年12月頃

10周年記念シンポジウム

2,500

地球温暖化防止京都会議の開催10周年を迎えるに当たり、地球温暖化対策の取組状況と今後の方向性、展望を考えるシンポジウムを府市協調で実施する。

開催時期 19年12月頃

[環境局 地球温暖化対策課 TEL 222-3452]

バイオマス利活用京都モデル実証実験

<新規> 10,000

<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

生ごみや剪定枝など家庭や地域から発生するバイオマス資源を対象に、最適かつ効率的なバイオマス利活用システムを構築するため、回収からエネルギー活用に至るモデル実証実験を行う。

本市のこれまでの廃食用油燃料化事業や生ごみ等からのバイオガス生成などの取組成果及び市民の主体的な環境活動を踏まえた京都にふさわしいシステム構築を目指す。

[環境局 施設整備課 TEL 212-8500]

[環境局 循環企画課 TEL 222-4091]

循環型社会の構築

有料化1年シンポジウム(仮称)の開催

<新規> 5,600

<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

有料指定袋制導入によるごみ減量の効果検証や身近に取り組めるごみ減量の取組紹介等を行うシンポジウムを開催する。

開催時期 19年11月頃

[環境局 循環企画課 TEL 222-4091]

[単位：千円]

ごみ減量相談窓口(仮称)の設置 <新規> 39,000
<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

市民が気軽に楽しく地域のごみの減量に取り組める環境づくりを行うため、また、市民に開かれたまち美化事務所を築くため、新たに「ごみ減量相談窓口」を設置し、コミュニティ回収や各種拠点回収の拡大に向けた啓発活動やごみ減量に対する取組への助言等を行う相談員を配置する。

開設場所 各まち美化事務所(11か所)

開設時期 19年6月(予定)

[環境局 循環企画課 TEL 222-3460]

ごみ減量先進的取組支援 <新規> 31,000
<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

ごみ減量や地球温暖化防止を目的とした民間事業者や市民団体が行う先進的な取組のうち、実証研究や試行実施等を必要とするものに対する支援を行い、本格的な事業化、実用化を促進する。

[環境局 循環企画課 TEL 222-4091]

小・中学生の環境体験学習プログラム <新規> 9,300
<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

ごみ分別リサイクル体験学習 5,300

幼少期から3R(リデュース, リユース, リサイクル)を意識し、生活様式の見直しの必要性を感じてもらうために、小学校の総合学習の授業の中でごみの分別リサイクルの体験学習をモデル実施する。

モデル校 市内小学校3校

分別想定品目 プラスチック製容器包装, 缶・びん・ペットボトル, 廃食用油, 古紙

環境絵画コンクールの実施 4,000

環境意識の向上及びごみ減量など自主的な取組の更なる推進を図ることを目的に、小・中学校において循環型社会をイメージした環境絵画コンクールを実施し、これを市民に広く紹介する。

[環境局 循環企画課 TEL 222-4091]

[単位：千円]

スプレー缶分別収集 <新規> 1,700
<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

適正な処理が課題となっているスプレー缶の分別収集を開始し、適正処理及び市民の分別・リサイクル機会の拡大を図る。

開始時期 19年10月(予定)

[環境局 まち美化推進課 TEL 222-3461]

[環境局 適正処理施設部管理課 TEL 212-9820]

区民提案型パートナーシップ事業 <新規> 14,100
<有料指定袋制の実施に伴う財源活用事業>

町内や自治会などの地域コミュニティが主体となり、区役所・支所と協働して行う、ごみ減量やまちの美化活動、不法投棄の防止活動などに対する支援を通じて、地域に根ざした新たなごみ減量等の取組や既存取組の充実を誘導し、併せて、自主的活動の基盤となる地域コミュニティの活性化を図る。

[環境局 循環企画課 TEL 222-3460]